

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成29年5月12日(金) 19時00分～20時40分まで			
開催場所	東部コミュニティセンター			
参加人数	6人 (男性6人)			
班構成	1班	藤原 秀策 山本 雅之	大瀧 金三 松岡 光子	神吉 史久 岡田 千賀子
役割分担	代表者	藤原 秀策	司会進行者	大瀧 金三
	報告者	松岡 光子	記録者	岡田 千賀子
報告内容	<input checked="" type="checkbox"/> 議会の活動状況 <input checked="" type="checkbox"/> 予算等の審議状況 <input checked="" type="checkbox"/> その他重要と思われる事項			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月定例会及び平成29年度予算特別委員会報告 ・ 常任委員会の活動状況 ・ 政務活動費について 			
報告に関する質疑	(質疑)		(答弁)	
	<p>Q 住居表示整備事業(二子・古宮)は10年前に議会で否決された。根底にあるのは、地区差別だと思う。旧地区名で進めてほしいが、どのように進めていくのか。</p> <p>Q ここ1～2年のうちに連合婦人会や消費者協会と議会報告会をおこなっているが、どのような内容ですすめ、どんな意見が出たのか。</p>	<p>A 整備予算は計上されている。住民の合意の上で行う予定であり、担当グループが住民説明会を開いてから委員会に報告がある。議会に上程された場合は各議員が判断する。</p> <p>A 連合婦人会との会合は議会報告会ではないので記録は残していません。消費者協会のほうでは、</p> <p>① 「四季を通じ、緑や花の豊かな町を目指す活動を継続するには」</p> <p>② 「徒歩、手押し車、自転車等の移動に安心安全な道路をと願う私たちはどうすれば」などのテーマにそって、意見交換・ご要望を伺い、ホームページや議会だよりにも掲載している。</p>		

	<p>Q 町内は民間開発で曲がりくねった道が多く虫食い状態が見受けられる。道路が出来て便利になっているが古宮北地区の区画整備事業等ができなくなった後、町は都市計画についてビジョンを持っているのか。今後の道路計画はあるのか。</p> <p>Q 播磨町は、現在、人口3万4千人ぐらいで、増えているようだが、全体としてはどの辺までの人口を考えているのか。</p> <p>Q 高齢者にやさしいまちづくりの例として公共施設の利用が高齢者には無料の自治体もある。そんなところの視察などしているのか。</p> <p>Q 議会だよりの歳出円グラフの中にある「その他」4億円の内訳は。</p> <p>Q 政務活動費をもっと増やしてはどうか。書籍購入が多いようだが研修等でもっと勉強してほしい。</p> <p>Q 議会だよりを読んでいて「○○したい」「○○である」などの言葉使いは不愉快である。柔らかく表現できないのか</p>	<p>A 浜幹線道路も50年ぐらい前に計画し、実施できた。これから作る道路も何本か計画はある。</p> <p>A 長期ビジョンでいうと、人口は減少時代です。10年20年後には3万人をベースとして維持していく予定で、現在も子育て支援に力を入れている。</p> <p>A 以前の視察先では車道と歩道のバリアフリーが整備され、フラットな街並みは高齢者などにやさしいまちだと感じた。</p> <p>A 議会費や農林水産費など。</p> <p>A 使える範囲が定まってお利用が制限されているため平成28年度は約60パーセントを返金している。</p> <p>A 広報誌という立場上、新聞などに準じ、です・ます調の表現はしていません。ご意見としてお聞きしておきます。</p>
--	---	--

意見・提言	(意見・提言等)	(対応)
感想等	<ul style="list-style-type: none"> ● 住居表示整備を反対する住民に対して「何故反対なのか」個人的に話し合っしてほしい。 ● 住居表示整備案は10年前となんら変わっていない。行政からまだ聞いていないといわず、どうすすんでいるのか議会でも調査してほしい。 ● 地価評価額が新聞に掲載されていたが、町内でも駅周辺の開発済み地点と都市整備されていない箇所が代表地点であったりする。議員も町全体を歩いて問題意識を持ってもらいたい。 ● 地区内2か所の踏切には「双子」「二子」というそれぞれ違う表示がある。 ● 調整区域に力をいれてほしい。 ● 田畑の固定資産税が高すぎ米を作るメリットがない。 ● 自治会長が出席する審議会や協議会が多く、年間100日とられる。同様の内容と思われるものも多数見受けられる。それらを整理してほしい。 ● 行政が「考えます」というのに対してもっと突っ込んだ質問をし、徹底的に質問してほしい。 	<p>いただいた貴重なご意見は、議会の審議に住民の声として反映させます。</p>

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成29年5月12日 19時00分～ 20時30分まで			
開催場所	野添コミュニティセンター			
参加人数	16人(男性 12人 女性 4人)			
班 構 成	2 班 田中久子 河野照代 奥田俊則 宮宅 良 木村晴恵 小原健一 藤田 博			
役割分担	代 表 者	田中 久子	司会進行者	奥田 俊則
	報 告 者	宮宅 良	記 録 者	河野 照代
報告内容	<input checked="" type="checkbox"/> 議会の活動状況 <input checked="" type="checkbox"/> 予算等の審議状況 <input checked="" type="checkbox"/> その他重要と思われる事項 ・ 3月定例会及び平成29年度予算特別委員会報告 ・ 常任委員会の活動状況 ・ 政務活動費について			
報告に関する質疑	(質疑)		(答弁)	
	Q	貯水庫・備蓄庫の地下設置の議論をされたことはないのか。	A	議論は行っていない。当局側に確認して調査をする。
	Q	大規模災害発生時、どれくらいの食糧などを備蓄しているのか。	A	播磨町は目標としてはアルファ化米など約2600人分の3食分約8000食を備蓄している。
	Q	災害時において、食糧の供給についての企業との提携は。	A	町内の生活協同組合コープこうべコープ播磨と提携している。 【補足説明・危機管理グループ】 飲料水・清涼飲料製品についてはキリンビバレッジと提携を結んでいる。
	Q	土山駅北地区のまちづくりは2000年(平成12年)以降進んでいないが、どうなっているのか。	A	土山駅北まちづくり委員会から議会に地籍調査を早めて欲しいと要望書が提出された。計画予定地区より先行するとなると、県に申請の変更と協議が必要であり、まだ決定していない。
	Q	10数年前に播磨中央公民館改修の話聞いたが、その後どうなっているのか。	A	老朽化している大ホール等の改修設計費が本年度に予算化されている。
	Q	運転免許証返納に対して、何か補助はあるのか。	A	運転経歴証明書交付手数料補助金の1000円と播磨ふれあいの家宿泊利用助成金1回分の助成がある。
	Q	防犯カメラの設置に補助金が出るのか。	A	自治会が設置する場合は、県と町への申請がいる。一箇所につき県より8万円の補助、町より8万円の補助

		を合わせ最大16万円の補助がある。 個人では申請できない。
	Q 南海トラフなどの大地震の際、人口3万5千人全員が公共施設に避難できるのか。	A 公共施設には限りがある。自助・共助・公助の分担が大切で住宅耐震化も進めてほしい。それぞれの役割を果たしながらみんなで命を守っていく。
意見・提言等	(意見・提言等)	(対応)
	<p>本町には公式戦ができる充実したグラウンド・体育館等の運動施設が少ない。他市には高齢者が使えるグラウンドがある。新島の一番奥にグラウンドを作ってもらいたい。</p> <p>高齢者が出かける所を増やしてほしい。</p> <p>防犯灯のLED化に対しての補助金を増やしてほしい。</p> <p>公民館大ホールの音響が悪いので、せめて可動式の反響板だけでも設置してほしい。</p> <p>デイサービスにもっと通えるように基準を緩和してほしい。</p> <p>土山駅前駐輪場で高齢者用三輪自転車の駐輪を断られた。今後何らかの方策を考えてほしい。</p> <p>はつらつ広場、いきいきサロンの参加人数が減少している。周知がされていないので、頻繁に広報し、啓発活動をしてほしい。</p> <p>そこへ通う交通手段がない。</p> <p>介護認定について我々はあまり知らされていない。</p> <p>認定制度の基準そのものが厳しくなっているのでは。</p> <p>基準が不明確でわかりにくい。</p> <p>播磨中央公民館の改修にふるさと納税など住民の寄付金を充てるような検討もしてほしい。</p>	

	運転免許返納に対して、タクシー代半額補助を考えてほしい。	
備 考		

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成29年5月13日(土) 19時00分から20時14分まで			
開催場所	南部コミュニティセンター			
参加人数	14人 (男性12人 女性2人)			
班構成	1班	藤原 秀策 山本 雅之	大瀧 金三 松岡 光子	
役割分担	代表者	藤原 秀策	司会進行者 大瀧 金三	
	報告者	松岡 光子	記録者 岡田 千賀子	
報告内容	<input checked="" type="checkbox"/> 議会の活動状況 <input checked="" type="checkbox"/> 予算等の審議状況 <input checked="" type="checkbox"/> その他重要と思われる事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 3月定例会及び平成29年度予算特別委員会報告 ・ 常任委員会の活動状況 ・ 政務活動費について 			
報告に関する質疑	(質疑)	(答弁)		
	Q 委員会視察報告にある愛知県大府市「見守り活動事業」の研修に行かれているが、どのような内容の取組であったのか。あわせて町の取り組みは。	A	「あったか見守りネット」は近所同士で気に掛け合い、日常と違う状況を発見した場合に早期に対応できる「しなやかネット」を機能的にするため、事業者にも協力を呼びかけ見守り活動の包括協定を結んでいる。また、支援するため様々な情報を配信するメールマガジンを640人が登録。現在、町でも同様の取組を実施。	
	Q 町制施行55周年記念事業「日本丸の寄港」について、見学は自由に出来るのか。	A	シャトルバス利用で埠頭からの見学は可能。内部見学は公募になると思う。	
	Q 政務活動費月額1万円で十分な活動ができるのか。もっと上げてはどうか。	A	他の自治体とは異なり、使用項目が書籍の購入費・研修会参加などに限られている。	
	Q 下水道未接続のところへ接続	A	高齢世帯等では未接続が見受	

	<p>工事がしやすくなるような推進対策は。</p> <p>Q 下水道未接続住宅周辺の溝掃除は他のところより大変だ。高齢者には重い溝蓋も上げにくい。町管理のもとでやってくれたらいいのだが。</p> <p>Q 町の食糧備蓄は何日分くらいあるのか。</p> <p>Q 100mm級の大雨が降ったらどうなるのかというような災害想定をしているのか。町の災害では津波よりも集中豪雨を一番に考え、想定外の災害も考えるべきだ。</p> <p>Q 公債費はどういうところのものか。</p>	<p>けられる。水洗トイレなどの改修工事にはリフォーム助成など活用できる。未接続住宅には職員が接続の推進に伺っている。</p> <p>A 溝蓋の開閉が困難な所は、自治会から申し出れば町が清掃を行っている。</p> <p>A 消防分署の備蓄倉庫などに2～3日分。自宅にも備蓄していただき自助・公助で備えたい。学校などの災害避難場所には順次防災倉庫を設置している。</p> <p>A 町の排水施設では45mmを基準に整備している。県の事業で水田川の整備もすすめている。集中豪雨時に、ため池への貯水は空の場合は有効である。</p> <p>A 主に県などの発行する地方債である。</p>
意見・提言等	<p>(意見・提言等)</p> <p>● 議会だより歳出のグラフで、衛生費の項目に金額もだいぶ違うと思える予防接種とごみ処理を一緒にするのはおかしいと思う。</p>	<p>(対応)</p>

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成29年5月13日 19時00分～20時30分まで		
開催場所	西部コミュニティセンター		
参加人数	7人(男性 7人)		
班 構 成	2 班	田中久子 河野照代 奥田俊則 宮宅 良 木村晴恵 小原健一 藤田 博	
役割分担	代 表 者	田中 久子	司会進行者 奥田 俊則
	報 告 者	宮宅 良	記 録 者 河野 照代
報告内容	<input checked="" type="checkbox"/> 議会の活動状況 <input checked="" type="checkbox"/> 予算等の審議状況 <input checked="" type="checkbox"/> その他重要と思われる事項 ・3月定例会及び平成29年度予算特別委員会報告 ・常任委員会の活動状況 ・政務活動費について		
報告に関する質疑	(質疑)		(答弁)
	Q 議会だよりの予算の歳入歳出の表示が分かりづらい。本町はどれくらいの黒字か。	A	財政調整基金から繰り入れた分などを除くと赤字である。 補足説明 【27年度決算】 単年度収支 マケス 99,646千円 実質単年度収支 マケス644,173千円
	Q 播磨ふれあいの家は赤字なのか。	A	播磨ふれあいの家は指定管理者が運営している。 町からの指定管理料と宿泊利用などの売り上げを合わせると黒字である。
	Q 町外から働きに来られている人には宿泊の補助がない。町民だけがなぜ割引されているのか。	A	町民は播磨町に住民税を納めているが、町外からお勤めの方はお住いの市町に納めているのでサービスに違いがある。
	Q 本町の高齢者に潜在的糖尿病患者が多いが、健康維持・健康増進への取り組みは。	A	第二次はりま健康プランとして、健康づくりの計画がある。糖尿病の重症化を防ぐ・歯の健康・ウォーキングなどへの取り組みをしている。 特定健診の受診率が低いのも要因の一つである。受診し指導が必要な方には、栄養指導、運動指導等を行っている。
Q 介護保険料が上がらないようにする対策は。	A	高齢者の健康づくりへの提案をしていきたい。	

	<p>Q 子どもが生きていきやすい町としてどう予算化されているかを議会だよりに具体的にすべきでは。</p> <p>Q 高齢者ドライバー免許証返納に対して、それに代わる交通手段は。 家族の援助がない限り自力で移動せざるを得ないので、車と免許証を手放せない。 タクシー補助券などの考え方は。</p>	<p>A 産前産後のケアから子ども医療費、保育料、就学援助など、子育てしやすい町として打ち出している。 議会だよりもより分かりやすくするように努めていきたい。</p> <p>A タクシー補助券等も議論したが、コミバスの実証運行を予定している。 【補足説明 企画グループ】 事業者の募集を行い一者からの応募があったが、要件を満たしていない部分があり選定には至らなかったため決定していない。</p>
意見・提言等	<p>(意見・提言等)</p> <p>補助金の助成団体名と補助金額のリストを広報等で知らせるべき。 助成団体も身が引き締まると思う。 高齢者の運動場を作っていただきたい。 子ども医療費無料、できれば高校まで無料にしていきたい。 健康いきいきセンターの不便さと不衛生を感じる。 すべての施設が中途半端で利用しにくい。 以前、議会と語ろう会において駅前に貸し出し自転車を設置してほしいと要望したが返答がない。 県立加古川医療センターへ行くコミバス、直通便が欲しい。 神姫バスが時刻通り出発しない。 本町の住民が町内と町外の医療機関のそれぞれの利用率を把握するべき。</p>	<p>(対応)</p>
備考		